

ライチョウ会議大会の開催経緯

第1回ライチョウ会議

2000年8月31日：長野県大町市 フレンドプラザ大町：66人

第2回ライチョウ会議

2001年8月29-30日：長野県大町市 県山岳総合センター・サンアルプス大町：51人

第3回ライチョウ会議

2002年8月25-26日：富山県天狗平 立山高原ホテル：54人

第4回ライチョウ会議

2003年9月6-7日：東京都世田谷区 東京農業大学：69人

第5回ライチョウ会議

2004年8月22-23日：岐阜県高山市 市民大ホール：109人

第6回ライチョウ会議山梨大会

2005年8月20-21日：山梨県南アルプス市 芦安小学校：112人

第7回ライチョウ会議静岡大会

2006年8月26-27日：静岡県静岡市 もくせい会館：131人

第8回ライチョウ会議長野大会

2007年8月18-19日：長野県大町市 サン・アルプス大町：219人

第9回ライチョウ会議新潟大会

2008年11月15-16日：新潟県新潟市 ウエルサンピア新潟：190人

第10回ライチョウ会議東京大会

2009年11月2-3日：東京都台東区 上野動物園・東京大学：294人

第11回ライチョウ会議石川大会

2010年11月13-14日：石川県金沢市 しいのき迎賓館：244人

第12回ライチョウ会議長野大会

2011年7月23-24日：長野県松本市 Mウイング：165人

第13回ライチョウ会議岐阜大会

2012年10月13-15日：岐阜県高山市 市民大ホール：274人

第14回ライチョウ会議山梨大会

2013年11月3-5日：山梨県南アルプス市 楡形生涯学習センター：527人

第15回ライチョウ会議東京大会

2014年11月1-2日：東京都台東区 上野動物園管理事務所(専門家会議)：63人
東京国立博物館平成館大講堂(公開シンポジウム)：176人

第16回ライチョウ会議静岡大会

2015年10月24-25日：静岡県葵区 しずぎんホール8F(公開シンポジウム)：340人
しずぎんホール7F(専門家会議)：166人

第17回ライチョウ会議長野大会

2016年10月15-16日：長野県大町市 大町市文化会館(公開シンポジウム)：400人
サンアルプス大町2F(専門家会議)：200人
サンアルプス大町1F(行政連携会議)：30人
大町山岳博物館(エクスカッション)：55人

第1回ライチョウ会議：2000年8月31日（大町市）

開会（11：00）

市長あいさつ

ライチョウ会議の発足について

基調講演 「ニホンライチョウと人と」平林国男

事例発表 ライチョウ研究の現状

山岳博物館での取組み（宮野典夫）

富山雷鳥研究会の調査（加納哲夫）

乗鞍岳のライチョウ調査（直井清正）

白馬岳のライチョウ調査（北原正宣）

ライチョウのDNA解析（馬場芳之）

野生動物保護の現状と考え方

環境省・林野庁・（文化庁）・富山県

ライチョウ会議の今後

閉会（18：20）

懇親会

第2回ライチョウ会議：2001年8月29-30日（大町市）

1日目 これからのライチョウ研究の課題（会員のみ）

開会 市長あいさつ（13：00）

「これからのライチョウ研究の課題」

個体群のモニタリング調査・遺伝的多様性・放鳥への課題

（話題提供：北原正宣・馬場芳之・宮野典夫）

総合討論

閉会（17：00）

交流会

2日目 ライチョウの保護と高山環境の保全

開会 会長あいさつ（9：00）

「ライチョウの保護と高山環境の保全」

乗鞍・立山における人と自然への影響

植生破壊の現状

今後の登山のあるべき姿

（話題提供：林一彦・直井清正・五十嶋博文・佐伯守）

総合討論

今後のライチョウ会議の進め方

講演「これからのライチョウ研究の課題」中村浩志（これより一般参加可能）

講演「人はいかに高山の自然と関わるべきか」河野昭一

質疑応答・「ライチョウ保護対策への提言」

閉会（16：00）

第3回ライチョウ会議：2002年8月25-26日（立山室堂）

1 日目 (18 : 30) 立山の自然環境、ライチョウの生態に関するスライド映写および懇親会

2 日目

早朝現地視察 (05 : 00)

開会のあいさつ (会長・実行委員長) (9 : 00)

第 1 セッション：立山におけるライチョウの生態と個体群動態

立山におけるライチョウの生息環境の現状と標識ならびにテレメトリー法による長期モニタリング調査の成果 (肴倉孝明)

立山地域におけるライチョウのメタポピュレーションの動態 (河野昭一)

第 2 セッション：高山環境

立山の気象・近年における環境変動の影響は？ (飯田肇)

総合討論

ライチョウ保護対策への提言・ライチョウ会議の今後の進め方

閉会 (14 : 40)

第 4 回ライチョウ会議：2003 年 9 月 6-7 日 (世田谷区)

1 日目

会長あいさつ・実行委員長あいさつ (10 : 00)

総会 (決算・予算・ライチョウ会議の今後ほか)

第一部 調査・研究報告

細菌学的解析によるライチョウの生息環境評価 (山口剛士ほか)

ライチョウの衛生対策 (渡邊忠男)

野生ライチョウに認められたロイコチトドーン感染 (村田浩一)

ライチョウの血液原虫感染に関する調査・研究 (村田浩一)

まとめ

南アルプス光岳周辺のライチョウの生息状況 (朝倉俊治ほか)

乗鞍岳におけるライチョウの個体群に関する研究 (北原克宣)

ライチョウを用いたMHC分析の進行状況 (馬場芳之)

ニホンライチョウの隔離個体群調査の必要性 (肴倉孝明ほか)

まとめ

繁殖期における番い雄と独身雄の行動 (本間一成)

植物群落から見たライチョウの営巣環境 (西條好迪)

抱卵中のメスライチョウの採食・離巣行動 (栗原沙希ほか)

ニホンライチョウの人工孵化について (宮野典夫)

抱卵中のメスライチョウの採食植物および抱卵の中・後期におけるつばみ回数の一事例 (安間勇樹ほか)

まとめ

第二部 関係機関のニホンライチョウ保護事業

市立大町山岳博物館におけるライチョウ保護事業について (宮野典夫)

中部森林管理局のライチョウ保護事業について (有井寿美男)

富山県におけるライチョウ保護対策の経緯 (中島剛)

乗鞍岳のライチョウ生息調査について (田中高行)

大蓮華山における高山環境の保護事業（蓬澤正二）

ニホンライチョウの保護管理の指針（環境省）

閉会（18：00）

懇親会

2 日目 講演会 奥山～里山～海～まちを結ぶ

あいさつ（NPO法人ライチョウ保護研究会理事長）（9：30）

生物の多様化の道（本谷勲）

高山の環境と植物群落（丸田恵美子）

ニホンライチョウの生態（北原正宣）

ニホンライチョウの生息状況・ツキノワグマの役割とコリドーの意味（古林賢恒）

パネルディスカッション（加藤幸子・服部一景・松田輝雄・本谷勲・丸田恵美子・北原正宣・古林賢恒）

閉会（16：30）

第5回ライチョウ会議：2004年8月22-23日（高山市）

1 日目

会長あいさつ（13：00）

市長あいさつ

研究・保護活動発表 セッション1 乗鞍岳のライチョウ調査の歴史と現状報告-

乗鞍岳のライチョウ調査の歴史と現状報告（福井強志）

最近30年間における乗鞍岳のライチョウなわばり数及び分布の変化（瀧澤輝佳）

環境保全税を利用したライチョウ生息調査（山崎靖）

乗鞍岳の植生環境について（小野木三郎）

自然公園管理の問題点（飯田洋）

セッション2 各地の調査・研究報告

ニホンライチョウの遺伝的多様性と集団の遺伝的距離（笠原里恵）

減少が懸念される南アルプスのライチョウ（中村浩志）

南アルプス北部地域における高山生態系の攪乱要因調査について（村山力）

立山室堂におけるライチョウの採餌植物とその季節変動（肴倉孝明）

G I Sを用いたライチョウの生息環境分析の試み（堀田昌伸）

ノルウェー、トロムセ大学におけるライチョウ飼育について（宮野典夫）

ディスカッション 今後のライチョウ研究

総会

閉会（18：00）

懇親会

2 日目 シンポジウム ライチョウは生き残れるか？-地球温暖化とライチョウ-（9：00）

基調講演 ニホンライチョウの現状と地球温暖化

パネルディスカッション（大塚之稔・馬場芳之・塚田松雄・藤巻裕蔵・中村浩志・飯田洋・横山昌太郎）

閉会（11：20）

エキスカッション（乗鞍岳）

第6回ライチョウ会議山梨大会：2005年8月20-21日（南アルプス市）

1日目

会長あいさつ（9：20）

市長あいさつ

高円宮妃殿下ごあいさつ

セッション1

ライチョウってどんな鳥？（中村司）

南アルプスのライチョウ調査の歴史（依田正直）

ライチョウの生活を脅かす環境要因（村山力）

地球温暖化が南アルプスのライチョウに与える影響（四方田紀恵）

セッション2

南アルプス市の貴重な高山植物（鈴木憲仁）

ニホンライチョウの遺伝的多様性と文化（森口千英子）

MHC対立遺伝子から見た南アルプスのライチョウ（馬場芳之）

シンポジウム1

南アルプスのライチョウの保護と高山植物の保全

（中村浩志・横山昌太郎・浅川幸治・清水准一・内藤順造・中込秋男・森本聖治）

総会

桃源交響楽団演奏会

閉会（18：00）

懇親会

2日目

特別講演 地球環境を考える（高円宮妃殿下）（9：00）

基調講演 日本における野生生物の保護と課題（山岸哲）

講演 野生生物との共存の道をさぐる（中村浩志）

シンポジウム2

ニホンライチョウの保護と課題

（山岸哲・中村浩志・藤巻裕蔵・柳澤昭夫・馬場芳之）

大会宣言文の採択

閉会（14：50）

エキスカージョン（芦安山岳館）

第7回ライチョウ会議静岡大会：2006年8月26-27日（静岡市）

世界の南限・南アルプスのライチョウを守れるか？

1日目

実行委員長あいさつ（13：00）

来賓あいさつ

ライチョウってこんな鳥（中村浩志）

南アルプス南部のライチョウ（朝倉俊治）

南アルプス北部のライチョウ（肴倉孝明）

立山のライチョウの25年間の推移（松田勉）
乗鞍岳のライチョウ（大塚之稔）
南アルプスの現状及び保護対策（静岡県自然保護室）
閉会（17：00）
懇親会

2日目

ライチョウによる種子散布（曾根綾子）（9：30）
パネルディスカッション 南アルプスのライチョウは守れるか？
（山岸哲・中村浩志・村田浩一・増沢武弘・朝倉俊治）
閉会（12：00）

第8回ライチョウ会議長野大会 2007年8月18-19日（大町市）

「ライチョウと高山環境をいかにして守るか」

1日目

実行委員長あいさつ（13：00）

大町市長あいさつ

第1部のテーマ：「ライチョウの生息域内保全と生息域外保全との連携」

希少種の保護保全について（環境省：北橋義明）
近代登山の概要と自然保護（市立大町山岳博物館：柳澤昭夫）
ライチョウの感染症と生息環境（鳥取大学：山口剛士・岐阜大学：福士秀人）
南アルプス市による登山者アンケート調査の取り組み（南アルプス市：塩沢久仙）
大町市のライチョウ飼育の取組みと今後の計画（大町山岳博物館：宮野典夫）
種の保存と動物園（上野動物園：小宮輝之）
コウノトリをシンボルとしたまちづくり（豊岡市：佐竹節夫）

総合討論

閉会（17：40）

会場移動

懇親会

2日目

ライチョウ会議議長あいさつ（9：10）

第2部のテーマ：「高山に何が起きているのか」

氷河期からの高山植生の変遷と現在の高山環境（東京学芸大学：小泉武栄）
南アルプスの保護林（北部）におけるシカ被害調査（中部森林管理局：元島清人）
日本アルプスに生息するニホンザル、ニホンジカの生態について（信州大学：泉山茂之）
高山昆虫の現状について（信州大学：伊藤建夫）
高山環境の現状と地球温暖化問題（信州大学：鈴木啓助）

総合討論

昼食

第3部 シンポジウムのテーマ：「ライチョウの保護と高山環境の保全」

基調講演「日本のライチョウの現状と課題」（信州大学：中村浩志）

基調講演「北アメリカのライチョウ類の生態」

(カナダ バンクーバー ブリティッシュ・コロンビア大学 : Dr. Kathy Martin)

パネル討論「ライチョウと高山環境をいかにして守るか」

パネリスト : Kathy Martin ・ 小泉武栄 ・ 泉山茂之 ・ 中村浩志 ・ 鈴木啓助 ・ 環境省 ・ 中部森林管理局 ・ 長野県 ・ 市立大町山岳博物館

閉会 (16 : 40)

期間中会場にて、関係団体等のポスター展示あり

第9回ライチョウ会議新潟大会 2008年11月15-16日 (新潟市)

「日本分布最北端のライチョウは守れるか? - 希少鳥類の保護に向けて -」

1日目

実行委員長あいさつ (13 : 00)

来賓あいさつ (新潟県県民生活・環境部長、新潟市環境部長、妙高市長)

基調講演「日本のライチョウとその危機的状況」(信州大学 : 中村浩志)

セッション I : 「新潟県のライチョウー昔と今ー」

火打山におけるライチョウ調査の歴史と現状 (新潟県野鳥愛護会 : 本間隆平)

火打山および焼山におけるライチョウの生息状況について

ー1年間の標識調査からわかったことー (国際アウトドア専門学校 : 長野康之・信州大学 : 中村浩志・国際アウトドア専門学校 : 伊藤雅文・原田浩光・馬場祐希・東澤晃平)

火打山周辺山塊におけるライチョウの生息状況

(新潟県野鳥愛護会 : 木下徹・渡辺央・本間隆平・白井康夫)

火打山の植生 (上越教育大学 : 五百川裕)

日本のライチョウの遺伝的構造と系統分化ー火打山個体群の遺伝的特性ー

(信州大学 : 所洋一・中村浩志・森口千英子・熊野彩)

質疑応答

セッション II : 山岳環境とライチョウ

北アルプスのライチョウー生息環境と保護対策ー

(中部森林管理局 : 元島清人・山岳環境研究所 : 肴倉孝明)

ライチョウが絶滅した山岳における絶滅の経緯 (信州大学 : 中村浩志)

南アルプスにおけるニホンジカによる食害について (中部森林管理局 : 元島清人)

ライチョウがいない飯豊連峰の自然と鳥類 (日本野鳥の会 : 渡部通)

質疑応答

閉会 (18 : 00) 懇親会 (18 : 30)

2日目

エクスカージョン (6 : 30) 佐潟の自然とハクチョウ見学

セッション III : 希少鳥類の保護に向けて

新潟県の希少鳥類 (日本歯科大学 : 千葉晃)

長野県におけるブッポウソウの分布の変遷と保護対策 (飯田市上村中学校 : 田畑孝宏)

新潟県におけるブッポウソウの生息状況と保護対策 (新潟県野鳥愛護会 : 渡辺央)

質疑応答・総合討論

パネルディスカッション : ライチョウを守るために何ができるか? (千葉晃・中村浩志・本間隆平・元島清人・五百川裕・戸貝純夫 (佐渡トキ保護センター))

大会からの提言（実行委員長：本間隆平）

閉会（12：00）（副実行委員長）

期間中会場にて、関係団体等の写真展示あり

第10回ライチョウ会議東京大会 2009年11月2-3日（東京都）

「日本のライチョウは守れるか？ー山で増やすか、飼って殖やすかー」

1日目 専門家会議

実行委員長あいさつ（13：00）

東京動物園協会理事長あいさつ

第1部：ライチョウの地域個体群の現状（13：10-14：35）

日本のライチョウの遺伝的構造と系統分化（所洋一：下諏訪北小学校・中村浩志・森口千英子・熊野彩：信州大学）

立山における30年間のライチョウ個体数の変化（松田勉：富山雷鳥研究会）

御嶽山におけるライチョウの個体群の現状（直井清正・池田守・荒井浩：日本野鳥の会岐阜県支部・田之元克己・熊崎詔之：乗鞍の自然を守る会・中村浩志）

頸城山塊におけるライチョウの山岳間の移動と火打山における繁殖個体数の安定性について（長野康之・伊藤雅文・原田浩光・馬場祐希・東澤晃平・田辺慎一：国際自然環境アウトドア専門学校・中村浩志）

白山におけるライチョウの絶滅と70年ぶりの雌個体1羽の確認（上馬康生：石川県白山自然保護センター）

質疑応答

第2部：ライチョウの生態と生理学的特性（14：35-16：10）

乗鞍岳におけるライチョウの体重の季節変化（中村浩志）

乗鞍岳におけるライチョウの食性の季節変化（小林篤：東邦大学）

乗鞍岳におけるライチョウの換羽の季節変化（西野優子：信州大学）

立山におけるライチョウの営巣環境特性について（松田勉）

ライチョウの腸内細菌（福士秀人：岐阜大学・山口剛士：鳥取大学）

質疑応答

第3部：飼育の現状（16：10-16：55）

大町山岳博物館におけるライチョウ日本亜種の飼育について（宮野典夫：大町山岳博物館）

上野動物園におけるスバルライチョウの飼育経過（高橋幸裕・石井淳子・倉持浩・生井澤初枝・清水一彦・齋藤和夫・堀秀正：上野動物園）

エゾライチョウの飼育（藤巻裕蔵：山階鳥類研究所）

質疑応答

閉会（17：30）懇親会（17：40-19：30）

大会開催前スバルライチョウの飼育見学（希望者のみ）（10：00-11：00）

2日目 公開シンポジウム

第4部：ライチョウを取り巻く課題（10：10-12：05）

日本の高山植生（増沢武弘：静岡大学）

増えるシカにどうとりくむか（高槻成紀：麻布大学）

地球温暖化の現状と将来予測（江守正多：国立環境研究所地球環境研究センター）

質疑応答

第5部：日本のライチョウは守れるか？（13：00－15：00）

基調講演1 日本のライチョウの現状と課題（中村浩志）

基調講演2 動物園等における生息域外保全の現状と課題（伊東員義：上野動物園）

ライチョウの文化史（国松俊英：作家）

自然への畏敬の念（柳生博：日本野鳥の会）

域外保全事業の現状と方針（浪花伸和：環境省）

第6部：パネルディスカッション（15：10－16：20）

コーディネーター：山岸哲（山階鳥類研究所）

パネラー：中村浩志・宮野典夫・伊東員義・国松俊英・柳生博・浪花伸和

大会からの提言（中村浩志）（16：20）

閉会あいさつ（大会実行委員長）

第11回ライチョウ会議石川大会 2010年11月13－14日（金沢市）

「白山にライチョウはよみがえるか」

1日目 専門家会議

実行委員長あいさつ（13：00）

石川県環境部長あいさつ

第1部：白山の自然とライチョウ（13：20－14：30）

座長：野崎英吉（石川県自然保護課）

西限の高山白山の地形と気候（青木賢人：金沢大学）

白山高山帯の植生（野上達也：石川県白山自然保護センター）

文献に見る白山のライチョウ（小阪大：白山市立鶴来博物館）

白山で見つかったライチョウ（上馬康生：石川県白山自然保護センター）

質疑応答

第2部：ライチョウ生息地からの報告（14：30－15：40）

座長：宮野典夫（市立大町山岳博物館）

立山でのライチョウの生息状況 - 生存年数と分散を中心にして - （松田勉：富山雷鳥研究会）

御嶽山におけるライチョウの生息環境（元島清人：中部森林管理局・肴倉孝明：山岳環境研究所）

乗鞍岳におけるライチョウの冬期の生態（中村浩志・小林篤：信州大学）

小谷村に生息するライチョウとその保全 - 白馬乗鞍岳周辺におけるライチョウの利用環境 - （肴倉孝明）

質疑応答

第3部：ライチョウの生息域外保全の取り組み（15：50－17：00）

座長：中村浩志

ニホンライチョウの域外保全に向けた動物園の取り組み（堀秀正：上野動物園）

スバルライチョウの生息地を訪ねて（堀口政治：富山市ファミリーパーク）

いしかわ動物園が考えるライチョウ飼育計画（竹田伸一：いしかわ動物園）

質疑応答

総合討論 (16:35-17:00)

閉会 (17:00) 懇親会 (18:00)

2日目 公開シンポジウム

実行委員長あいさつ (9:00)

プロローグ (9:10-9:20)

ライチョウスライドショー (森勝彦: 日本ライチョウ友の会雲上の羽根)

公開シンポジウム 白山にライチョウはよみがえるか

基調講演1 日本のライチョウの現状と課題 (中村浩志) (9:20-9:50)

基調講演2 白山のライチョウ (上馬康生) (10:00-10:30)

パネルディスカッション (10:50-12:00)

コーディネーター: 水野昭憲 (石川県立自然史資料館)

パネラー: 中村浩志・上馬康生・青木賢人・美馬秀夫 (いしかわ動物園)・山本茂行 (富山市ファミリーパーク)・浪花伸和 (環境省)

閉会あいさつ (大会実行委員長)

ライチョウ写真展「氷河期の生きた化石 ライチョウ」(森勝彦) 11月8日~14日

第12回ライチョウ会議長野大会 2011年7月23-24日 (松本市)

専門家会議1日目

実行委員長あいさつ (13:00)

第1部: 各山岳集団の生息状況と課題 (13:10-15:30)

座長: 堀田昌伸 (長野県環境保全研究所)

世界南限に生息するライチョウの生息環境と生息状況 (○朝倉俊治: 静岡ライチョウ研究会)

南アルプス白根三山北部に生息するライチョウの現状 (中村浩志: 信州大学)

乗鞍岳に生息するライチョウの現状 (○小林篤: 信州大学)

御嶽山に生息するライチョウの現状 (○肴蔵孝明: 山岳環境研究所)

頸城山塊に生息するライチョウの現状 (○長野康之: 国際自然環境アウトドア専門学校)
討論

第2部: 域外保全への取り組みと今後 (14:45-17:30)

座長: 堀秀正 (恩賜上野動物園)

「ニホンライチョウの域外保全に向けた取り組みの進捗状況」

恩賜上野動物園・多摩動物公園の取り組み (高橋幸裕: 上野動物園)

富山市ファミリーパークの取り組み (堀口政治: 富山市ファミリーパーク)

いしかわ動物園の取り組み (竹田伸一: いしかわ動物園)

長野市茶臼山動物園の取り組み (野口敦子: 茶臼山動物園)

討論

閉会 (17:30) 懇親会 (18:00)

専門家会議2日目

第3部: 域内保全の取り組み (9:30-11:45)

座長: 宮野典夫 (山岳博物館)

ライチョウの家族の孵化直後から1ヶ月間高山帯でのケージ飼育とその後の放鳥 (○中

村浩志)

航空写真によるライチョウの棲息環境の解析 (○熊谷清：朝日航洋株式会社)

長野県におけるニホンジカの棲息状況について (小池一成：長野県林務部)

北アルプスへのニホンジカ等の侵入に対する中信森林管理署の取り組み (有井寿美男：
中部森林管理局)

乗鞍岳へのイノシシの侵入と被害状況 (元島清人：中部森林管理局)

ライチョウ保護の環境省の取り組み (浪花伸和：環境省自然環境局)

全体討論 座長：中村浩志

公開シンポジウム

「北アルプスの自然をどう守るのかーライチョウの保護が今なぜ必要なのか?ー」

実行委員長あいさつ (13:00)

松本市長あいさつ

基調講演1 日本のライチョウの現状と課題 (中村浩志) (13:15-)

基調講演2 世界の高山と日本の高山 (田部井淳子)

パネル討論「北アルプスの高山環境とそこに棲むライチョウをいかに守るか」

(15:15-16:30)

コーディネーター：中村浩志

パネリスト： 登山家の立場から (田部井淳子)

行政の立場から (松本市商工観光部長：平尾勇)

保全活動の立場から (信州ツキノワグマ研究会：泉山茂之)

自然史博物館の立場から (宮野典夫)

長野県の立場から (堀田昌伸)

環境省の立場から (浪花伸和)

閉会あいさつ (大会実行委員長)

第13回ライチョウ会議岐阜大会 2012年10月13-15日 (高山市)

第1日目

主催者 (実行委員長) あいさつ (13:00)

ワークショップ (研究発表)

第1部：独立峰のライチョウの現状と課題 (13:05-15:40)

座長：堀田昌伸 (長野県環境保全研究所)

標識による乗鞍岳ライチョウの個体群研究 (○小林篤：東邦大学理学部)

航空写真による乗鞍岳ライチョウの生息環境解析 (○渋谷研一：朝日航洋株式会社)

マイクロサテライトDNA解析により解明された日本のライチョウの遺伝的分化 (○笠原里恵：立教大学理学部)

日本最少の個体群である火打山のライチョウはなぜ絶滅しないのか (○中村浩志：信州大学教育学部)

日本のライチョウ集団の絶滅可能性解析 (○高須夫悟：奈良女子大学理学部)

笠ヶ岳のライチョウ調査 (岐阜県) の現状について (熊崎詔之：乗鞍岳と飛驒の自然を考える会)

白山におけるライチョウの生息状況について (○高木丈子 (環境省中部地方事務所))

意見交換・総合討論

第2部：高山帯への野生動物侵入の現状と対策 15：50－17：30)

座長：浪花伸和（環境省自然環境局野生生物課）

乗鞍岳の高山帯におけるイノシシ等野生動物の侵入と被害状況（片岡清和：中部森林管理局指導普及課）

赤外線センサーカメラによる爺ヶ岳周辺の高山帯における鳥類相・哺乳類相の把握
（○堀田昌伸：長野県環境保全研究所）

北アルプス高山帯への野生動物の侵入と被害状況（片岡清和）

高山帯に侵入したシカの駆除について（中村浩志）

意見交換・総合討論

懇親会（18：00）

第2日目

第3部：ケージ飼育による域内保全の取り組みと今後の進め方（9：00－10：00）

座長：宮野典夫（山岳博物館）

乗鞍岳で実施するケージ飼育の試みと今後の展望（○中村浩志）

乗鞍岳における巣立ち後の雛の生存率および移動・分散（○小林篤）

意見交換・総合討論

第4部：域外保全への取り組みと今後（10：10－11：50）

座長：堀秀正（恩賜上野動物園）

都立動物園におけるスバルライチョウ飼育と今後の展望（○高橋幸裕：東京都恩賜上野動物園）

富山市ファミリーパークのスバルライチョウの飼育と今後の課題（○山本茂行：富山市ファミリーパーク）

いしかわ動物園のスバルライチョウの飼育と今後の展望（○竹田伸一：いしかわ動物園）

長野市茶臼山動物園のスバルライチョウの飼育と今後の展望（野口敦子：長野市茶臼山動物園）

意見交換・総合討論

公開シンポジウム

「日本のライチョウの将来を考える」（13：00－16：45）

共催者（高山市長）あいさつ（13：05）

基調講演1 ライチョウの現状と課題（中村浩志）（13：05－）

基調講演2 野生動物との共存の道をさぐる

（羽山伸一：日本獣医生命科学大学）（13：50－）

パネル討論（14：45－16：40）

コーディネーター：大塚之稔

パネリスト：下野綾子（ニホン山岳会自然保護委員会）

浪花伸和（環境省自然環境局野生生物課）

羽山伸一

中村浩志

閉会あいさつ（大会実行委員長）（16：40）

第3日目 エクスカーション

乗鞍岳ライチョウ生息地及び孵化後の家族1ヶ月間飼育用ケージの視察

第14回ライチョウ会議山梨大会 2013年11月3-5日 (南アルプス市)

第1日目

共催者 (南アルプス市副市長) あいさつ (13:00)

開催宣言 (実行委員長) あいさつ

第1部: 南アルプスと北アルプスにおけるライチョウの生息状況 (80分)

南アルプス南部におけるライチョウの生息状況 (○朝倉俊治: 静岡ライチョウ研究会)

南アルプス北部におけるライチョウの生息状況 (○中村浩志: 信州大教育学部)

南アルプス鳳凰三山におけるライチョウの生息状況 (○小林珠里: 薬師岳小屋)

北アルプス爺ヶ岳周辺におけるライチョウを中心とする高山生態系モニタリング
(○堀田昌伸: 長野県環境保全研究所)

北アルプス立山・薬師岳・朝日岳におけるライチョウの生息状況 (松田勉: 富山雷鳥研究会)

質疑応答

第2部: 乗鞍岳など独立峰における生息状況 (65分)

乗鞍岳における最近13年間の繁殖つがい数の年変化 (○中村浩志: 信州大教育学部)

乗鞍岳におけるライチョウの年齢と繁殖成功率 (○小林篤: 東邦大理学部)

火打山・焼山におけるライチョウの生息状況 (○中村浩志: 信州大教育学部)

御嶽山におけるライチョウの生息状況 (○肴倉孝明: 山岳環境研究所)

質疑応答

休息 (10分)

第3部: 温暖化によるライチョウの影響と

高山帯へのシカなどの野生動物侵入による植生への影響 (85分)

温暖化によるライチョウ生息域への影響-その予測と評価 (○堀田昌伸: 長野県環境保全研究所)

南アルプス北岳周辺におけるニホンジカの生息状況と食害状況 (長池卓男: 山梨県森林総研)

北岳の固有種 キタダケソウの保護活動 (清水准一: 日本高山植物保護協会)

南アルプス食害対策協議会の活動 (竹田謙一: 信州大農学部)

南アルプス国立公園における生態系維持回復事業計画 (中村仁: 環境所関東環境事務所)

質疑応答

1日目のワークショップ総合討論 (15分)

懇親会 (18:00~)

第2日目

第4部: 生息現地での保護対策 (域内保全) (40分)

乗鞍岳における孵化後の雛の死亡率と死亡要因 (○小林篤: 東邦大理学部)

乗鞍岳で実施された孵化後の家族ゲージ保護の取り組み (○中村浩志: 信州大教育学部)

質疑応答

第5部: 動物園でのスバルライチョウの飼育・繁殖 (域外保全) (60分)

都立動物園における取り組み（高橋幸裕：上野動物園）

富山市ファミリーパークにおける取り組み（堀口政治：富山市ファミリーパーク）

いしかわ動物園における取り組み（田島一仁：いしかわ動物園）

長野市茶臼山動物園における取り組み（野口敦子：長野市茶臼山動物園）

質疑応答

第6部：「種の保存法」によるライチョウの保護増殖事業について（40分）

ライチョウ保護の課題（中村浩志：信州大教育学部）

種の保存法による保護増殖事業への環境省の取り組み（中島慶二：環境省）

2日目のワークショップ総合討論（15分）

公開シンポジウム（12：30～16：30）

「ライチョウ保護と高山環境の保全ー新たな段階へー」

共催者（南アルプス市長）あいさつ

特別講演「鳥をと通して地球環境を考える

ーバードライフ・インターナショナルの活動ー」高円宮妃久子殿下

基調講演「ライチョウの現状と課題（中村浩志）

パネルディスカッション（14：50～16：20）

コーディネーター：増沢武弘（静岡大理学部）

パネラー：中島慶二（環境省）・中村浩志（信州大）・朝倉俊治（静岡ライチョウ研究会）

廣瀬和弘（南アルプス市みどり自然課）・清水准一（芦安ファンクラブ）

中村浩志

第3日目 エクスカーション

楡形山トレッキングルート

第15回ライチョウ会議東京大会 2014年11月1-2日（台東区）

1日目

専門家会議

実行委員長あいさつ（13：00）

第1部：生息域内保全に向けた取り組みについて

座長：藤巻裕蔵（帯広畜産大学 名誉教授）

乗鞍岳ライチョウ個体群における繁殖成功率と死亡要因の季節変化（○小林篤：東邦大
学理学部・○中村浩志：信州大学）

南アルプスにおける過去30年間のライチョウの繁殖数の変化（○中村浩志：信州大学）

南アルプス最南端(上河内岳～光岳)におけるライチョウの生息状況（○朝倉俊治：静岡ラ
イチョウ研究会）

頸城山塊におけるライチョウの生息状況（○長野康之：国際自然環境アウトドア専門学
校）

第一部総合討論

第2部：生息域外保全に向けた取り組みについて

座長：渡辺浩文（恩賜上野動物園 飼育展示課長）

平成26年度ライチョウ生息域外保全実施計画の概要（○安田直人：環境省自然環境局野生
生物課希少種保全推進室長）

スバルバルライチョウの導入から JAZA ライチョウ生息外保全 PT 設立までの経緯(○堀秀正：恩賜上野動物園)

飼育下スバルバルライチョウの飼育下環境(○野口敦子：長野市茶臼山動物園)

飼育下スバルバルライチョウにおける光条件が生殖腺活動に与える影響(○楠田哲士：岐阜大学応用生命科学部)

飼育下スバルバルライチョウの自然繁殖(○堀口政治：富士ファミリーパーク)

飼育下スバルバルライチョウのペアリングと産卵成績(○田嶋一仁：いしかわ動物園)

スバルバルライチョウの人工孵卵(○白石利郎：横浜市繁殖センター)

飼育下スバルバルライチョウの発生卵輸送試験(○高橋幸裕：恩賜上野動物園)

飼育下スバルバルライチョウの死因調査(太田香織：多摩動物公園)

第2部総合討論

閉会(17:30) 懇親会(18:00)

2日目

公開シンポジウム

「ライチョウのために動物園ができること」

実行委員長あいさつ(13:00)

上野動物園長あいさつ

オリエンテーション(実行委員会事務局)

基調講演 「ライチョウとはどんな鳥なのか?—現状と課題—」(○小林篤：東邦大学理学部)

基調講演 「飼って増やす動物園での取り組み」(○堀秀正：恩賜上野動物園)

パネルディスカッション 「明日のライチョウのために、いま、都会でできること」

コーディネーター：村田浩一(日本大学生物資源科学部教授)

パネリスト： 中村浩志(信州大学名誉教授・ライチョウ会議議長)

日橋一昭(日本動物園水族館協会生物多様性委員長・狭山市立智光山公園動物園園長)

安田直人(環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室長)

大森弘一郎(日本山岳会・NPO 法人山の自然学クラブ)

第16回ライチョウ会議静岡大会 2015年10月24-25日(静岡市)

1日目

開会(13:00)

南アルプスユネスコエコパークフォトコンテスト表彰式

オープニング「南アルプスイメージソング披露」

開会あいさつ「増澤武弘大会長、田辺信宏静岡市長」(13:40)

公開シンポジウム コーディネーター：増澤武弘(静岡大学)

基調講演1「南アルプスはどのようにできたか」(○長谷川裕彦：明星大学)

基調講演2「ライチョウってどんな鳥—保護の未来は?—」(○小林篤：東邦大学)

基調講演3「南アルプスのニホンジカ—生態系保全のためのシカ管理—」

(○大場孝裕：静岡県森林・林業研究センター)

基調講演4「気候変動とライチョウの生息環境」(○堀田昌伸：長野県環境保全研究所)

総括（○増澤武弘：コーディネーター）

閉会（16：30） 懇親会（18：00）

2日目

専門家会議

開会(10：00)

開会あいさつ「中村浩志ライチョウ会議議長」

第1部：生息域内保全に向けた取り組みについて(10：00)

座長：増田章二（静岡ライチョウ研究会）

ライチョウ保護増殖事業について（○佐藤直人：環境省野生生物課）

乗鞍岳で実施したライチョウの卵採集事業（環境省）の報告

（○中村浩志：信州大学、○小林篤：東邦大学）

南アルプス北岳で実施した孵化後の家族ケージ保護事業（環境省）の報告」

（○中村浩志：信州大学、○小林篤：東邦大学）

日本の南限に生息するライチョウの現状と課題

（○朝倉俊治、増田章二：静岡ライチョウ研究会、○堀田昌伸：長野県環境保全研究所）

H27 ライチョウ生息実態緊急調査（長野県）による北アルプス常念山脈

（燕岳～常念岳～大滝山）におけるライチョウのなわばり分布と雛の生存率調査結果

（○中村浩志：信州大学、○小林篤：東邦大学）

北アルプス大天井岳で確認されたニホンザルによるライチョウの雛の捕食」

（○中村浩志：信州大学、○小林篤：東邦大学）

第1部総合討論

第2部：生息域外保全に向けた取り組みについて(13：15)

動物園で行うライチョウの域外保全（○渡部浩文：上野動物園）

ライチョウ生息域外保全実施計画におけるデータロガーを用いたデータ収集の結果報告

（○宇野なつみ：上野動物園）

乗鞍岳における産卵期の種卵によるファウンダー確保経過報告

（○高橋幸裕：上野動物園）

乗鞍岳における抱卵期の種卵によるファウンダー確保経過報告

（○堀口政治：富山市ファミリーパーク）

野外の雌雄ニホンライチョウにおける生殖内分泌に関する調査の試み

（○山本彩織・楠田哲士・土井守：岐阜大学、○中村浩志：信州大学）

野生ニホンライチョウの腸内菌叢の特徴と飼育下スバルライチョウの腸内菌叢再

構築の試み

（○牛田一成：京都府立大学大学院）

スバルライチョウを用いたライチョウ飼料開発基礎研究

（○太田能之：日本獣医生命科学大学）

第2部総合討論

第17回ライチョウ会議長野大会 2016年10月15-16日（大町市）

1日目

エクスカージョン

大町山岳博物館ライチョウ展示コーナー、同付属園ライチョウ舎の見学

企画展「雷鳥～四季を纏う神の鳥～高橋広平写真展」の観覧

ライチョウ保護行政連携会議

自治体間のライチョウ保護に係る取り組みの報告・情報共有・意見交換

ライチョウサミット シンポジウム

開会 (13:00)

アトラクション 湯澤かよこ ミニライブ

オープニングセレモニー

主催者あいさつ (阿部守一：長野県知事、牛越徹：大町市長)

来賓あいさつ (下沢順一郎：長野県議会副議長、二條孝夫：大町市市議会議長)

リレートーク

ライチョウってどんな鳥？ ～現状と課題～

(小林 篤：東邦大学)

ライチョウが生き続ける山岳環境とその保全について

(増澤武弘：静岡大学 客員教授)

ライチョウを守るための未来へのメッセージ

(三四六 (タレント))

パネルディスカッション「ライチョウ保護から山岳環境保全を考える」

コーディネーター：神谷有二 (柗山と溪谷社 Yamakei On Line 部長)

パネリスト：中村浩志 (中村浩志国際鳥類研究所 代表理事)、赤沼健至 (燕山荘 代表取締役社長)、三四六 (タレント)、牛越 徹 (大町市長)

大町宣言 (大会宣言)

エンディング 三四六「ライチョウの唄」

2 日目

専門家会議

開会あいさつ「中村浩志ライチョウ会議議長」(10:00)

第1部 生息域内保全に向けた取り組みについて

座長：中村浩志 (中村浩志国際鳥類研究所)

御嶽山のライチョウ数の変遷と噴火による生息数への影響

(○中村浩志：中村浩志国際鳥類研究所、○大西 結：岐阜県環境生活部自然環境保全課・小林 篤：東邦大学理学部)

乗鞍岳におけるファウンダー確保 2年目の経過

(○福田 真：環境省長野自然環境事務所)

ライチョウのヒナを捕食したニホンザルの群れ行動圏の棲み分け

(○市川哲生：信州ライチョウ研究会)

南アルプス北岳におけるケージ保護 2年目の試み

(○小林 篤：東邦大学、中村浩志：中村浩志国際鳥類研究所)

ケージ保護と捕食者除去の効果に関する数理解析

(○阿部詩央璃、高須夫悟：奈良女子大学理学部情報科学科、中村浩志：中村浩志国際鳥類研究所、小林 篤：東邦大学)

爺ヶ岳・岩小屋沢岳におけるライチョウの生息状況及びセンサーカメラによる哺乳類相・鳥類相のモニタリング

(○堀田昌伸、尾関雅章：長野県環境保全研究所)

質疑応答

第2部 生息域外保全に向けた取り組みについて

座長：東京都恩賜上野動物園 副園長 渡部浩文

動物園で取り組むライチョウ生息域外保全

(石原祐司：富山市ファミリーパーク・日本動物園水族館協会
生物多様性委員会 ライチョウ域外保全プロジェクトチーム)

上野動物園におけるライチョウ人工孵化・育雛経過報告

(○高橋幸裕・吉村映里・宇野なつみ・小川美紀、野瀬修央、
林 笑、小池奈央子・平野雄三・豊嶋省二・山本藤生・
渡部浩文：東京都恩賜上野動物園)

乗鞍岳において抱卵期に採取した卵の飼育経過報告

(山本茂行・石原祐司・村井仁志・小峠拓也・穴田美佳・
○堀口政治・秋葉由紀・須藤一行：富山市ファミリーパーク)

市立大町山岳博物館におけるニホンライチョウの孵化・育雛経過報告(2016年)

(○宮野典夫・佐藤 真・内田木野実：市立大町山岳博物館)

スバルバルライチョウを用いた飼育方法の検討及び個体群管理

(○白石利郎：横浜市繁殖センター)

ニホンライチョウの保護増殖に資する腸内細菌研究」

(○牛田一成・土田さやか：京都府立大学)

スバルバルライチョウを用いたライチョウ飼料開発基礎研究2

—栄養モニタリング報告1—

(○太田能之：日本獣医生命大学応用生命科学部)

質疑応答・総合討論